

■ 碧川かた 婦人運動家。三木露風の母で、童謡「赤とんぼ」のモデルとなった。映画製作技術者碧川道夫の母でもある。

みどりかわかた

戊辰戦争終・1869＝ 鳥取で、藩家老和田邦之助信且の次女に生まれる。母はみね。父は藩主の怒りにふれ蟄居の身となり、心痛から廃人同様になったため、和田家の重臣堀正に預けられ、その養女となる。養母は千代。

明治6年政変 1873＝ 4歳：

大久保暗殺・1878＝ 9歳：

琉球処分・ 1879＝10歳：養父が高知典獄となり、現地の学校に通い、谷干城の娘と友だちになる。

明治14年政変1881＝12歳：

成績抜群で、何度も飛び級、

養父が播磨に転任、

国民之友始・1887＝18歳：さらに他所に転任することになったため、播磨の円覚寺に預けられ、住職夫妻の許で花嫁修業、

初の対等条約1888＝19歳： 龍野町長で九十四銀行頭取だった三木制に懇望され、その息子三木節次郎と結婚。

帝国憲法発布1889＝20歳： 長男操(のちの三木露風)を出産。

日清戦争始・1894＝25歳： 次男勉を出産するも、夫の身持ちが悪く、三木制からの話もあって、ついに、

日清戦争終・1895＝26歳： *離婚し、次男を連れて帰郷。長男は三木家で養育されることになる。養父が東京で鳥取出身学生の寮の舎監になっていたことから、手に職をつけるため、養父を頼って上京、女のひとり旅を心配した側近の配慮で、東京専門学校に進学した米子裁判所所長の次男碧川企救男が同道。帝国大学付属看護法講習科に入り、

白馬会・ 1896＝27歳：

八幡製鉄始・1897＝28歳： 修了して、東大病院看護婦となり、多忙のため乳離れした次男も三木家に引取ってもらうが、心痛のため、交際続ける企救男らの影響もあって、本郷教会に通うようになり、海老名弾正から受洗。

教科書疑獄・1902＝33歳： 三浦謹之助教授から、ドイツへの官費留学の話が起こるが、札幌で新聞記者となっていた企救男から強い誘いがあり、7年間奉職した看護婦をやめ、企救男のいる札幌へ走り、再婚。企救男は社会部長になる。

日比谷公園・1903＝34歳： 長男を出産。

日露戦争始・1904＝35歳： 長女を出産するが、企救男の兄に子がなかったことから、その養子となり、再び喪失感を味わう。

日露戦争終・1905＝36歳： *三木露風となった長男から手紙が来、その返事に涙した露風が、{文庫}に、母を思う歌を寄せる。

韓国反日暴動1907＝38歳： 企救男と長男が腸チフスで入院。看護婦経験も生きて、無事退院。企救男が入院中に書いた小説が、

アライフ 創刊・ 1908＝39歳： 読売新聞の懸賞に入選し、一家で上京、企救男は報知新聞社会部主任となる。

伊藤博文暗殺1909＝40歳： 三女芳子を出産。企救男は中央新聞に移って活躍。

明治天皇没・1912＝43歳： 末娘清子を出産。

大正政変・ 1913＝44歳：

第一次大戦始1914＝45歳：

企救男が病弱な上、子沢山もあって、経済的には恵まれず、東大病院の恩師三浦謹之助のはからいで、マッサージの技術をいかし、古河市兵衛ら上客も得て、家計を支える。貧しい生活の中で次第に社会改革、特に婦人の解放に目を向けるようになり、基督教婦人矯風会の一員として廃娼運動などに奔走。

大暴落・ 1920＝51歳： 西川文子らと婦人社会問題研究会を結成。参政権運動の同志と、明治神宮大祭の群衆に、禁酒運動のチラシを配っている時、映画カメラマンの卵だった道夫が偶然通りかかって撮影、ニュース映画の一コマに。

原敬首相暗殺1921＝52歳： *露風が母をモデルに、傑作童謡「赤とんぼ」を創作。東京婦人禁酒会を設立して会長となり、夫が酒飲みだったことを非難されるも、未成年者の説得に努め、

水平社結成・1922＝53歳： 野良犬放置や少年の空気銃禁止を請願。

関東大震災・1923＝54歳： 西川文子らと婦人参政権同盟結成し、街頭演説や国会請願を始める。

護憲三派圧勝1924＝55歳： 婦人参政権同盟の理事に再選されるが、意見の違いで脱退し市川房枝らの婦人参政権獲得期成同盟に参加。

金融恐慌・ 1927＝58歳： 三女芳子が内田吐夢と結婚。 鷲尾よし子らと女権擁護会を結成して機関紙{女権}を発行し、

共産党事件・1928＝59歳： 全日本婦人経済大会で市川房枝の国策同調に反対。

海軍軍縮条約1930＝61歳： 市川房枝らの第1回全日本婦選大会に出席するなど、婦人運動の先覚者の一人となる。

満州事変・ 1931＝62歳：

五一五事件・1932＝63歳： 全国に特高課が設置され、碧川家は社会主義者・無政府主義者として記載される。

帝人疑獄事件1934＝65歳： 夫企救男が死去。

日中戦争始・1937＝68歳： *戦前の最後の全国婦選大会に出席。

大政翼賛会・1940＝71歳： 道夫が映画技能審査の初代委員・{国策ニュース}カメラマン協会会長となり、{映画学校}も設立。

日米開戦・ 1941＝72歳：

敗戦・ 1945＝76歳： 東京大空襲で被災し、埼玉県入間郡に疎開。<敗戦>の結果、婦人参政権が実現。

新憲法施行・1947＝78歳： 小学5年生の音楽に露風の「赤とんぼ」が採用される。

朝鮮戦争始・1950＝81歳：

TV放送始・ 1953＝84歳： この年道夫が色彩開発した衣笠貞之助監督「地獄門」は、翌年カンヌのグランプリ獲得。

自衛隊発足・1954＝85歳： 眼病が悪化、視力を失って行くなか、かつての舅三木制をなつかしみ、

国連加盟・ 1956＝87歳： 売春禁止法が成立したの喜び、

タイタイ病始・1961＝92歳： 末子清が重度心身障害児施設の島田療育園の総婦長に就任した年、 寝たきりとなって、

全国総合計画1962＝93歳： 没した。

インターネットWikipediaほか、